

the Lion

2014-2015 VOL.3



4リジョンからの富士山

- ◆ 地区ガバナーアピール
- ◆ クラブACT紹介
- ◆ 事務局便り



ザ・ライオンタイムズ
DISTRICT 334-C

ガバナーアピール

GOVERNOR APPEAL

半期を 振り返って 思う事

地区ガバナー
佛井正夫



慌ただしい正月も過ぎ、ガバナーの任期も残すところ4ヶ月となりました。私にとってこの冬は特に寒く感じられます。皆さんはいかがでしょう？

先ず2014年7月から始まった今期も皆様方のお力添えで何とか大過なくここまで来ました。心より感謝申し上げます。

最近私が感じている事を少しばかりお話しさせて戴きます。

私は当初から少人数クラブ対策を重要課題として方針の中に取り入れてきましたが、その問題が予想以上のスピードで進んでいて、早急な対策が必要になってきました。奉仕活動がままならぬ事は勿論、クラブ運営がうまくいっていないクラブが増えてきています。これからは地区の運営も従来通りにはいかなくなる事と思われます。今まで以上にゾーン内の協力関係が必須と思います。

ゾーンが一つになって支えていく「絆」が重要になってくる事と思われます。その意味に於いて、ガバナー諮問委員会、あるいはゾーン会長・幹事会をより充実させるべきと考えます。

また、ライオンズ組織について感じた事を申し上げます。

ライオンズクラブは国際協会を頂点として、自分の位置、クラブの位置、そしてその役目があるわけで、それをしっかりと確実に把握して頂きたいという事です。

よく『クラブでの決まりが有るから、理事会・例会でよく検討して』という事を耳にしますが、その前に国際協会の決まり・方針があります。その内容に沿った行動を是非よくお願いいたします。その為にも、必携をよく読んでいただきたいと思います。

また、最近自分も含めて思う事ですが、ライオンズはもっと個々のアイデンティティを大切にしていいただきたいということです。

メンバーの皆さんは、それぞれ自分にとって貴重な一時期をこのライオンズクラブという組織に属し、仲間と共に地域の為、世界平和の為に奉仕活動を続けてきたわけですから、胸を張って、自分の思い出の中に残し、自らの有終の美を飾っていかうではありませんか。私自身、これからも仲間と共に前向きな人生を送る覚悟であります。

ACT紹介

SPECIAL EDITION

三方原学園スキー教室

1 R 1 Z 浜松葵 L C



2015年2月で18回目を数える「静岡県立三方原学園スキー教室」は、1998年2月に長野県朝日プライムスキー場で開催以来、浜松葵ライオンズクラブが青少年健全育成を目的として毎年2月に継続開催しているアクティビティです。

本アクティビティに招待している児童が在籍する静岡県立三方原学園とは、浜松市内に設置されている県立の児童福祉施設(児童自立支援施設)です。家庭や学校などで育成指導の難しい児童や、家庭環境など養育環境上の理由によって生活指導が必要な子どもたちの健全な心身の育成・発達、自立の支援を目的としています。

近年はスキー教室の会場を岐阜県郡上市の「ひるがの高原スキー場」へと移し、参加児童と学園の先生は現地に1泊、2日間にわたりスキー教室に参加しています。舞う程度の雪しか降らない浜松では見ることのできない白銀の世界や、スキーそのものが初体験という児童も多く、初日はおぼつかない様子で何度も転びながら滑っていた

[illegible]

子どもたちも、2日目には全員がリフトでグレンデ頂上まで登り、滑り降りることができるようになりました。子どもたちの目を見張るほどの成長速度や体力には、毎年感心させられています。

スキー教室を通じて、子どもたちが挫けずに努力し、仲間と協力しあい友情を深め、諦めずにチャレンジすることで上達し、目標を達成することの大切さを学び、そしてそれらを体験した子どもたちの無垢な笑顔こそが、本アクティビティの本懐であると改めて実感いたしました。参加した児童からは毎年感想文をいただきます。子どもらしい文章には、感動したことや感謝の言葉が力強く書かれています。

18年間でおよそ250名超の児童がスキー教室に参加しました。ここで得た経験が、子どもたちのより良い人生の礎になること、これからも本アクティビティを継続することで、一人でも多くの子どもたちの成長に寄与できることを願っております。

ACT紹介

SPECIAL EDITION

1 R 2 Z 親善チャリティゴルフ大会

1 R 2 Z

森町 L C



昨年11月28日(金)に葛城ゴルフ倶楽部で、1R2Z親善チャリティゴルフ大会を開催し、12月22日(月)に公益財団法人静岡県障害者スポーツ協会の藁科一仁専務理事兼事務局長を森町LC事務所に招き、各クラブ会長・幹事に出席いただいて贈呈式を実施し、代表してZCのL小倉豊寿により収益金の167,318円を贈呈しました。支援する団体の決定は、前回のガバナー諮問委員会で協議し、昨年度と同様としました。

このゴルフ大会は、1R2Z磐田・森町・袋井・豊田・磐田南・磐田シニアの6クラブ合同の継続アクティビティで、毎年1回ホストクラブは持ち回りで、本年度は森町LC。チャリティ内訳は各クラブ会員全員に300円、参加者に登録料(商品・パーティー代)として3,000円、

前後半でショートホール各1ホールずつチャリティホールを設置し、ワンオン出来なければ1,000円、その他表彰式でのドネーションになります。

表彰式では順位の他、成績に関係なくZC賞・会長賞などの抽選もあり、終始大いに盛り上がっていました。当日36名の参加者の割に予想より多くのチャリティが集まり、感謝です。他クラブの会員さんと一日一緒にプレーする事で、話をしたことの無い会員さんと親しくなれたり情報交換が出来たりと、大変有意義なこの大会は今後も継続したいと思います。そして、このアクティビティを通してまず参加者全員が楽しみ、それがASK1・KEEP1に繋がれば良いと考えます。

最後に、この収益金が障害者スポーツ支援に有効に使われることを祈念してアクティビティ紹介とさせていただきます。

ACT紹介

SPECIAL EDITION

浜北ふれあい広場で地域福祉に貢献

1 R 3 Z 浜北 L C



浜北ライオンズクラブでは、年間活動の主要なアクティビティとして、地域の社会福祉協議会が主催して開催される「浜北ふれあい広場」に参加して、地域の社会福祉活動に貢献し、併せてライオンズクラブの活動を地域住民や同じく参加している社会福祉団体などに知って貰う機会としています。本年度も11月9日に浜北総合体育館で開催され、我々は模擬店の一店舗を出店し「うどん」の販売と無料の血糖値測定コーナーを実施しました。

メンバー23名が参加して「うどん」コーナーでは、お客様の呼び込みや接客、調理を本職顔負けで頑張りました。当日は雨模様でしたが、ほかの店舗には無い物で、お値段も1杯200円（玉子は50円）と格安で、当日は肌寒いこともあり行列が出来る程の盛況となり、目標の400食を売り切ることが出来ました。お味の評判も上々の評価を頂きました。

また、隣のテントでは、クラブメンバーの医師・歯科医・薬剤師が、簡易の測定機材を使って、無料の血糖値測定を行いました。こちらも生憎の天候にも拘らず、約70名の方が測定を行い、それに伴う健康相談やアドバイスにも熱心に耳を傾けていました。改めて、生活習慣病への関心が高くなっており、簡単な検査で一層の予防と生活の見直しにつながれば幸いだと、担当したメンバーも感心しておりました。

また、このふれあい広場においては、福祉施設や福祉団体の関係者のみならず、多くの老若男女の市民も参加されるイベントでありますので、この機会を利用して、ライオンズクラブが取り組んでいる、「アイバンク」や「薬物乱用防止」などの活動の宣伝をする事も心がけています。

そして、模擬店での上金金は全額、主催である浜松市社会福祉協議会さんへ活動資金として寄付させていただきました。

ACT紹介

SPECIAL EDITION

大学キャンパス内の 献血奉仕活動

1 R 4 Z 大東LC



掛川市の旧大東地区にある東京女子医科大学看護学部大東キャンパスには、毎年4月約90名の乙女達が入学してきます。当クラブでは入学直後の4月に「薬物乱用防止」に関わる講習会を行い、彼女達の健全なキャンパス生活を応援しています。

また、10月のキャンパス祭には学生、大学職員、地域の方々を対象に献血活動を毎年行っております。今年度も10月19日(日)に実施させていただきました。学生たちは将来の看護師としての意識も高く、献血や骨髄バンクドナー登録に自らも積極的であり、かつ献血の呼びかけなども積極的に行い、その姿勢はクラブの会員も感心するところであります。当日は、大勢の皆様のご協力により60余名による献血と、4名の方に骨髄ドナー登録をしていただきました。

昨年の10月は、上旬に台風の襲来などがあり、血液センターでも相当な危機感を持っていたようで、学生、地域の皆様のご協力に大変感謝をされておりました。9月にも学生、大学職員の方を対象に献血活動を行う予定としておりましたが、授業の都合で中止となりました。

今年度は是非、1年に2回の献血活動がキャンパス内で行えるように、スケジュールの調整を万全に致したいと思っています。また、当クラブでは女子医大関連とは別に、2月に地域の皆様を対象に献血活動も行っています。毎回大勢の皆様のご協力をいただき感謝をいたしております。今後も、献血、献眼、献腎活動の意義を訴え、より一層の努力をいたしたいと思っています。ライオンズクラブに対する、皆様の一層の御理解を得られるように努力をしてみたいと思います。

ACT紹介

SPECIAL EDITION

静岡青葉ライオンズクラブ 旗争奪少年少女サッカー リーグ戦

2 R 1 Z 静岡青葉 L C



静岡青葉ライオンズクラブは、クラブ設立当初から「静岡青葉ライオンズクラブ旗争奪少年少女サッカーリーグ戦」を主催しております。

静岡市内(葵区、駿河区)の小学生4年生・5年生・6年生の少年少女の選手で構成されたチームの約2,000名が参加しており、各チームは、毎年4月から3月までの1年間にわたって全力を尽くして戦い抜きます。

初期はトーナメント戦による短期間の大会でしたが、時代の変遷にともない、大会の開催スタイルも1年を通じて開催されるリーグ戦形式に発展してまいりました。また、毎回、会場では静岡サッカー協会・選手のご家族の温かいご協力を得て、献血運動も実施しております。

現在は第39回大会の開催中ですが、このたびの4月には第40回の大きな節目を迎えることとなります。この大会からはJリーグでプレーした選手も輩出されております。

違う道に進んだ選手たちもこの大会で学んだことを糧にして、社会の中でそれぞれ立派に成長されていることと思います。私たち静岡青葉ライオンズクラブは、これからの日本を背負って立つ少年少女がサッカーというスポーツを通して、健全な精神と健康な身体を育み、立派に成長し、それぞれの大きな夢に向かって歩んでいただくことを心から願い支援してまいりました。

このアクティビティが、かくも長い年月盛大に行われますのも、後援協力をいただいている静岡サッカー協会、各団体をはじめ、選手のご家族、プログラム広告にご協賛企業などの多大なるご協力の賜物と感謝しております。多くの方々のお力を借りながら成り立っているこの静岡青葉ライオンズクラブ少年少女サッカーリーグ戦を今後も大事に続けていきたいと心より願っております。そして、より一層青少年の健全育成に尽力してまいりたいと考えております。

ACT紹介

SPECIAL EDITION

ストライクで満面の笑顔

2 R 2 Z 清水日本平 L C



清水日本平ライオンズクラブでは、今年度のスローガン「感謝一強い絆で確かな奉仕」の実現のため、就労支援施設通所者の皆さんを招待して9月24日にボーリング大会を行った。今回で8回目の開催となることから、既に当クラブの恒例事業として定着しているが、今年は9施設から競技者121名と付添者28名の参加があり、過去一番の賑わいとなった。就労支援施設に通所している皆さんは、レクリエーションを楽しむ機会も少ないことから、日頃の作業は忘れて気分転換を図っていただきたいと考え、この大会は平成19年から開催している。

開催当初は参加人員も少なかったが、回を重ねるごとに参加者も増え、今ではボーリング場の全レーンを貸し切るまでに規模も拡大したことが、各施設との日程調整、ボーリング場との打合せ、賞品の選定、食事の用意と、開催に至るまでの準備も大忙しである。

メンバーも既に多くの参加者とも顔なじみであることから、開始前から楽しい会話に花が咲き、昨年の成績や今年に掛ける意気込みが語られるなど、熱気の中にも和気あいあいの雰囲気である。ボーリング大会が開始されると、ストライクやスペアーが続出し、満面の笑顔で体いっぱい喜びを表現し、周りからは大きな歓声が沸き起った。身体的な障害からボールを投げるできない方には、すべり台に似た補助具の上にボールを置き、ピンに向かってボールを落下させる方法を取ったことから、健常者と同様に楽しんで戴いた。ゲーム終了後に表彰式を行ったが、表彰のつど何度も大きな拍手と歓声に包まれた。楽しい時間はあっという間に過ぎ、参加者の皆さんには明日からの各施設での作業の活力になっていただけたと思う。

参加者の皆さんからは多くのお礼の言葉をいただき、クラブメンバーも温かな気持ちとなり、笑顔で来年の開催と再会を約し散会した。

ACT紹介

SPECIAL EDITION

榛南ライオンズクラブ 杯争奪 剣道大会

2 R 3 Z 榛南LC



我々榛南ライオンズクラブでは、重点活動方針としての青少年健全育成事業の一環として、平成24年より「榛南ライオンズクラブ杯争奪剣道大会」を開催しています。毎年、少年少女(小学校)チーム・中学校剣道部の子供たちで300名を超える参加者と保護者の皆様にもご来場頂き盛大に開催されています。

また、本大会開催に当たり、榛南剣道連盟の皆様の全面的なご支援を頂くとともに、関係機関のご後援も頂いております。

この榛南地域は旧来より武道特に剣道が盛んな地域であり、幾多の優秀な選手・指導者を輩出しています。その中で我々は、学校教育の中にも武道が必修化され礼節を重んじる

日本武道の発展と、青少年の精神的な安寧を醸成することに繋がればと思います。俱楽部メンバーも早朝より元気いっぱい、会場設営・運営等に携わり、参加される子供たちの日頃より鍛えられた「心・技・体」を目の当たりにして、緊張感に手に力が入り、身のこなしに心躍り、試合の後には清々しさすら感じています。

当日の会場内においてメンバーが子供たちに声を掛け、保護者・剣道連盟関係者と言葉を交わし、親交を深める事で、ライオンズクラブ活動のPRや理解していただく場にもなっていると思います。

今後も剣道大会を通じて青少年育成に貢献していきたいと考えています。

ACT紹介

SPECIAL EDITION

薬物乱用防止運動

『ダメ。ゼッタイ。』

2 R 4 Z 静岡駿府 L C
静岡けやき L C ・ 静岡リバティ L C
静岡弥生 L C ・ 静岡翼 L C



私達2R4Zの5ライオンズクラブは、合同アクティビティとして2014年10月26日に青少年健全育成活動の一環として、静岡市のご協力のもと薬物乱用防止運動『ダメ。ゼッタイ。』を行いました。

この事業は、危険ドラッグや薬物使用による事件・事故がニュースになり、社会問題の一つとなっている今日、中高生に薬物乱用の有害性、危険性についての正しい知識と、薬物への警戒心、抵抗感を持ってもらいたいという思いで企画しました。

若い世代への呼びかけを行うためには、同じ世代からのアプローチが効果的ではないかと考え、静岡市内の私立中高校に出向き、この事業の趣旨を説明しご理解をいただき、静岡北高等学校・城南静岡高等学校・常葉学園中、高等学校・常葉学園橘高等学校・東海大学附属翔洋中、高等学校の5校より100名以上の生徒にご参加いただきました。

当日の式典は、東海大学附属翔洋高等学校の吹奏楽部による若さあふれる感動的な演奏で機運を盛り上げ、「薬物乱用」「ダメ。ゼッタイ。」という声かけをしながらメンバーと中高生約230名で市内をパレードしました。その後中高生と一緒に若い世代を中心に啓発用品を配布しましたが、若い世代からの呼びかけに関心を持ってくれる方も多く、また「薬物」という言葉に敏感な時期でもあった為、すぐに配布した啓発用パンフレットを読んでいる方も多く、地域のニーズに合ったアクティビティになったと思います。

啓発用品の配布を終え、参加した中高生が「薬物は自分には関係ないものだと思っていた。それが本当は身近にあるとても怖いものだ」と認識が変わった」と話してくれたことがこの事業が青少年の明るい未来への一歩につながったと嬉しく思いました。

ACT紹介

SPECIAL EDITION

沼津野球連盟学童部との 協働事業・海岸清掃奉仕活動

3 R 1 Z 沼津 L C



沼津ライオンズクラブは平成26年12月第1例会として、12月7日(日)に沼津野球連盟学童部と共に沼津市の御用邸記念公園前の海岸で清掃奉仕活動を実施しました。

沼津野球連盟学童部に対しての支援は、青少年健全育成を推進する観点から約25年前からスタートし、これまでも様々な形で支援を行って参りました。

本年度8回目となる沼津ライオンズカップ争奪学童軟式野球大会など、3つの野球大会の開催を支援しています。

当クラブ会員との海岸清掃奉仕は、協働事業として3年前より始まり、青少年指導委員会と環境保全委員会が連携して計画・実施し、新年を迎えるに当たり、沼津市の誇る御用邸記念公園を訪れた人々が、目の前に広がる広大な駿河湾の眺望をゴミひとつない綺麗な海岸線と共に堪能頂きたいとの気持ちも込め、子どもたちと一緒に汗をかきながら活動しました。

今回の活動には、沼津ライオンズクラブのメンバー約30名と、学童部の12チームの選手や保護者、指導者ら計約180人が参加。1時間半に渡り清掃奉仕活動を行い、ペットボトルやプラスチック容器、空き缶などを分別収集しました。青少年の健全育成の観点からは、この活動を通じて子どもたちが自分たちの郷土の宝である「海」を大切にする心を醸成してくれたり、仲間と協力して海岸を綺麗にすることでチームワークを強固にしてくれることなども期待しました。

清掃活動の後には、沼津ライオンズクラブの会員と学童部のお母さんが調理した特製のカレーライスが参加者全員に配られ、綺麗になった海岸を眺めながら、お腹一杯になるまで食べ、お互いの労をねぎらいました。この素晴らしい協働事業は、学童部はもとより、クラブ内でも評価が高く、全員参加型の奉仕活動として継続していきます。

ACT紹介 SPECIAL EDITION

児童養護施設へ支援金

3 R 2 Z 富士岳南 L C



3R2Z5クラブ(富士吉原・富士岳南・富士タカオカ・富士中央・富士マウント)合同事業として、10月8日に富士市富士町の交流プラザにて富士市内の児童養護施設に、合わせて100万円を寄付した。贈呈先は、社会福祉法人芙蓉会のひまわり園、社会福祉法人誠信会の岩倉学園、誠信少年少女の家の3施設に行なった。

鈴木庸由ZCが中心となり、2Zの5クラブの三役が話し合い全会一致の賛同を得て支援を決めた。鈴木ZCの挨拶の中で、現状の社会保障制度の中では、施設の運営も厳しく一般社会との隔たりも顕著

であるので、今回の支援について一過性な支援にとどまることなく、各クラブメンバー等の企業も含めて継続的な支援に携わっていただければありがたいと呼びかけた。

また、謝辞の中で「施設に入所する児童の家庭環境の多様性もあり、親と一緒に暮らせないことから、自分は価値のない人間であると思い問題行動を起こし、反抗的な態度の児童もいるが、施設としては、家庭に代わる場所として愛情をもって接しています。この支援金を有意義に活用していきたい」と締め括った。

ACT紹介

SPECIAL EDITION

CN50周年記念

「2014裾野吹奏楽 フェスティバル」

3 R 3 Z 裾野 L C



裾野ライオンズクラブは、本年度にCN50周年という大きな節目を迎えます。この貴重な機会に、半世紀にわたる奉仕の活動・歴史を再確認するとともに、今後とも関係の皆様のご支援・ご理解を頂きながら発展していく礎(いしずえ)にしたいと考えております。

50周年記念事業としては…

- ①記念式典の挙行…4月25日(土)
裾野市民文化センターにて。
- ②長年の献眼活動のメモリアル…
尊いご遺志の500霊合同慰霊祭と、
盲目のシンガー「長谷川きよし」
さんのコンサート(入場無料)を開催。
(4月25日)
- ③青少年健全育成を目的とした「裾
野吹奏楽フェスティバル」。
- ④地域環境の整備…富士山が一望で
きる美ポイントにミニパークを新設。

③の裾野吹奏楽フェスティバルは、昨年10月19日(日)裾野市民文化センターにて、一昨年に引き続き2回目を開催いたしました。

裾野市内の小・中・高、計7校の吹奏楽部に参加いただき、先ず、それぞれの学校から得意な楽曲を2～4曲を順次披露いただきました。熱心な先生のご指導によるクラブ活動成果をいかに発揮して頂き、素晴らしい演奏が続きました。

最後には各学校選抜メンバー100名による合同演奏…「ふるさと～ふじさん」という見事な編曲を短い練習の中でも息の合った演奏で、生徒・先生・父兄・関係者あわせて約800名の聴衆も一体となった、感動のフィナーレとなりました。

来年も第3回の開催を予定しており、素晴らしい演奏・交流を通じて、青少年の健全な育成につなげたいと活動を進めてまいります。

ACT紹介 SPECIAL EDITION

我がクラブの 継続アクティビティ

3 R 4 Z 富士宮中央 L C



富士宮中央ライオンズクラブは、世界文化遺産に登録された富士山の麓の街、富士宮市に昭和57年、48名の熱き獅子により発足致しました。その文化遺産登録の年に創立30周年を迎え、チャーターナイトを挙行し、現在に至っております。本年度の会長スローガンは「もう一度見つめなおそう奉仕の心」です。会長は、様々な継続アクティビティに対する熱き想いをこのスローガンに込められた様です。

さて、当クラブのアクティビティは三つの大きな柱があります。青少年育成指導、環境保全活動、そして三献運動の推進です。

まず、青少年育成指導は、毎年市内の小中学校の中から一校を対象として夏休みが始まる直前に、交通事故の恐ろしさを学ぶ体験型交通安全教室を開催しています。同時に子供達から交通安全スローガンの標語を募集し、優秀作品を書いた看板を学校に寄贈し安全意識の向上を図っています。この取組みにより、対象校は事故ゼロの実績を上げております。また、青少年育成指導には、クラブ結成以来行っている障害児を支援する活動があります。

レクリエーション・バーベキュー大会・クリスマス会等を行い、環境保全活動で後述しますが、我がクラブが維持管理する公園の草取りなどを共に行い、障害児との触れ合いを大切にしています。さらに薬物乱用防止教室では、市内小中学校および高校、専門学校、大学関係者等、各団体で年5回以上実施することを目標に啓蒙活動を行っております。

環境保全活動の推進については、当クラブの20周年事業として富士山さくらの園公園整備事業に着手し、フジザクラやヒマラヤザクラ、芝桜等、四十数品種の桜を植樹し公園が完成しました。その後毎年、桜の植樹や草取り等を障害児、中学生と共に公園整備を行っています。今では富士山を背景に一年中桜の楽しめる公園となっております。

三献運動の推進は、年に2回の献血献眼運動の実施、10年前には千人を目標に献眼登録運動を実施しました。クラブメンバーが減少する中で、新たなアクティビティを起こすことが難しい状態ではありますが、30周年を記念に高齢者を対象としたグラウンドゴルフ大会を開催する等、積極的にメンバー一同頑張っております。

ACT紹介

SPECIAL EDITION

奉仕の輪を広げよう！地域と協力、早朝作業

4 R 1 Z 東伊豆 LC



東伊豆ライオンズクラブ（森田隆裕会長／17人）は環境整備事業の一環として2013年度に東伊豆町稲取高原のクロスカントリーコース駐車場脇のスペースに、遅咲きの桜の苗を20本植樹しました。今年度も、継続事業として桜の周りに東伊豆町の花に指定されている「いそぶき」（10月～12月にかけて黄色く菊に似た小さな可憐な花を咲かせます）や、水仙などを植えたり定期的に草取りをするなど、奉仕活動を行っています。

平成26年8月27日、まだ残暑が厳しい中、暑さ対策と、今年度の方針の一つに、例会の開催の曜日や時間等を固定せず、1人でも多くの会員が参加できるよう工夫することを挙げたことから、今回は朝6時から7時半までの早朝奉仕活動となりました。

また、会員だけでは人手が不足すると考え、会員の事業所や家族の参加を呼び掛けました。

当日は明け方まで雨が降り、今にも雨が落ちてきそうな空模様のため、中止と思っていた会員が何名かいたようで、会員8名の参加でした。（個人の判断を尊重しすぎました。（笑））しかし、2つの事業所から9名の会員以外の方の参加をいただき、総勢17人の作業となりました。夏草を根こそぎ抜き取り…今回はこの根こそぎ抜くことにこだわりました。皆、雑草の根の深さに苦戦しながらも1時間半ほどの作業で20坪ほどのスペースがすっかりきれいになり、作業の後は同駐車場でおにぎりとお汁の自然の中での朝食を楽しみ、親交を深めました。

ライオンズクラブは会員だけの奉仕活動だけでなく、地域に奉仕の場を提供し、他の団体や事業所を巻き込み、奉仕の輪を広げていくことが社会貢献となり、ライオンズクラブの活動を理解してもらう一つの方法であることと信じ、今後も活動をしていきたいと考えています。

ACT紹介

SPECIAL EDITION

「環境保全標語募集」

4 R 2 Z 天城湯ヶ島 L C



<優秀作品の児童とみはり地蔵を囲み記念撮影>

当クラブは、心ない観光客による、伊豆のシンボルの天城連山への不法投棄をなくす願いをこめて、天城会館前に地蔵を建立しました。その名前を、市内の小学生から募集し、「みはり地蔵」と命名、同時に環境標語を募集しました。標語は、毎年応募があり、その都度優秀10作品を表彰しています。今回は7回目の募集となり、1月第1例会で、優秀10作品を選考しました。例年は、高学年を対象にしていたましたが、昨年度小学校が統合され1校になったこともあり、全校生からの応募となりました。特に印象深かった、3作品を紹介します。

「天城山 ごみなく輝く 緑の山」
「美しい 天城の山川 ごみはだめ」
「捨てないで 未来に残そう この緑」



<優秀作品への表彰の様子>

今年の標語募集を通じ、子供たちに「天城の自然を守るんだ」という強い意識が表れていることを強く感じました。年々、環境保全の意識が高まっていることを、強く感じています。故郷を離れる子供もいるかと思いますが、4リジョンの統一アクト『天城があぶない』を肌で感じ、いつまでも地域に愛着を持ってほしいと願っています。

当クラブも毎年独自に、天城山系の年末クリーン作戦を実施しています。本年度もすでに天城峠～昭和の森会館の間にある遊歩道のゴミ拾いを実施しました。会員が拾い集めたゴミは4トンダンプほぼ一杯になり、このままではほっておけない、毎年行うことの必要性を再確認いたしました。

事務局だより

INFORMATION

2014～2015年度第3回キャビネット会議報告



2014～2015年度第3回キャビネット会議が2月19日(木)静岡市において開催されました。当日承認された主な事項は次の通りです。詳細は、資料と議事要録でご確認下さい。

1. 2014～2015年度キャビネット会計中間報告並びに監査報告
2. 次期地区役員・三役セミナー開催日程等について
3. 第61回地区年次大会議事規則・代議員議事運営校正表・当日投票実施手順・年次表彰規定確認
4. 同大会、前当日スケジュール分担・使用会場控室等について
5. 次期地区ガバナー・第一副地区ガバナー及び第二副地区ガバナー立候補者承認と、次期キャビネット幹事・会計予定者について

キャビネット会議議事要録をはじめ、地区の各種委員会議事要録や統計資料は地区ホームページの「会員専用」ページに公開しています。会員専用ページに入るにはパスワードが必要です。
クラブ事務局かキャビネット事務局にお問い合わせ下さい。

3月～6月のキャビネットスケジュール

3/ 2(月) 第3回LCIF委員会
3/11(水) CEPファシリテーター研修セミナー
3/22(日) 第4回YCE委員会
3/22(日)～3/24(火) 夏季派遣青少年宿泊オリエンテーション
3/27(金) 第4回青少年・クエスト委員会
4/ 2(木) 第4回献眼・献腎・献血・環保委員会
4/ 3(金) 第61回地区年次大会第4回実行委員会
4/ 8(水) 第4回ZC会議／第5回地区GM・GLT会議 3月末地区会計監査／年次表彰最終審査会議
4/ 9(木) 第61回地区年次大会記念チャリティゴルフ大会
4/15(水) ガイディングライオン研修セミナー
4/23(木) 第4回キャビネット会議
5/16(土) 地区年次大会リハーサル
5/17(日) 第61回地区年次大会

2014年11月～2015年2月 物故ライオン

逝去日	物故ライオン名	所属クラブ
2014.12. 4	L 西村 公 孝	静岡葵 LC
2014.12.30	L 西村 元 雄	浜松ホストLC
2014.12.31	L 伊藤 智代司	浜松ホストLC
2015. 2. 1	L 稲葉 宏 道	御殿場 LC
2015. 2. 1	L 木下 知世己	蒲 原 LC
2015. 2. 7	L 鈴木 恒 夫	大須賀 LC
2015. 2.14	L 平井 守	静岡葵 LC

地区誌表紙と裏表紙について

今年度の表紙、裏表紙は各リジョンから望む「世界文化遺産・富士山」です。

世界文化遺産 富士山



4リジョンからの富士山